教科目名　情報処理応用(Applied Information Processing)

学科名・学年　：　情報工学科　５年　（教育プログラム　第５学年　○科目）
単位数など　：　選択　１単位　（後期１コマ，授業時間 23.25 時間）
担当教員　：　安部　民枝

授業の概要

将来、ＳＥやプログラマなどを希望する学生への情報処理技術の集大成を教授する。企業において IT システムは重要な位置を占めており、IT エンジニアには迅速かつ確実な対応が求められる。そのために今まで習得してきた技術や知識をまとめ、全体的な技術構成ついて学習する。更に今後どのような技術が利用され発展していくのか、についても学習する。

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(B2)，JABEE 目標(2.1②)**

(1) 企業における IT システムの必要性について説明できる(定期試験)
(2) システム開発の各フェーズにおけるプロジェクトマネジメント手法を説明できる(定期試験)
(3) データベースおよびクラウドコンピューティングの概要について説明できる(定期試験)
(4) ネットワークのトラブルや情報セキュリティ対策について説明できる(定期試験)

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	企業活動	企業活動と IT システムの関連	【理解の度合い】
2	サービスマネジメントとシステム戦略	企業活動を円滑に行うために行うサービスマネジメント	
3	ハードウェアとソフトウェア	クラウド時代のハードウェアとソフトウェア	
4	システム構成要素	企業活動で利用するシステムに必要な構成要素	
5	ヒューマンインターフェースとマルチメディア	誰でも使えるためのヒューマンインターフェースとマルチメディア	
6-7	システム開発とプロジェクトマネジメント	システム開発の流れにおけるプロジェクトマネジメント	
8	後期中間試験		【試験の点数】　　点
9	後期中間試験の解答と解説		【理解の度合い】
10	IT に関する法務	著作権法、不正アクセス禁止法等	
11	データベース	データベース設計、インシデント対策、ビックデータ	
12	ネットワーク	通信プロトコルと障害管理、モバイル通信、通信サービス	
13－14	情報セキュリティ	情報セキュリティ技術 情報セキュリティ管理・対策	
15	後期期末試験		【試験の点数】　　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	授業をきちんと聞き，毎回理解すること	【総合達成度】
教科書	なし(毎回、プリントを配布する)	
参考図書	相戸浩志「図解入門よくわかる最新情報セキュリティの基本と仕組み」秀和システム 矢沢久雄「これから IT 業界で働く人のための情報処理技術の基本」日本実業出版社	
自学上の注意	ハードウェア,ソフトウェアの基礎を復習しておくこと	
関連科目	システム工学、コンピュータアーキテクチャを復習しておくこと	
総合評価	達成目標(1)～(4)について定期試験及び小テストで評価する.定期試験と小テストの単純平均（100 点満点）で 60 点以上を合格とする.再試験は総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する。	【総合評価】　　点